



2026年5月14日

報道関係者各位

慶應義塾大学

福澤諭吉記念慶應義塾史展示館 2026年春季企画展（6/18～8/29）**福澤諭吉没後125年「福澤諭吉の臨終—『独立自尊』の誕生—」開催**

最晩年の福澤が残したかったものは何か それは残ったのか——。

“世の中をデングリ返せ”

福澤諭吉の死去は明治34年（1901）2月3日、ちょうど125年前にあたります。本展ではこれを機会として、改めて福澤の死の周辺を振り返ります。

福澤はいつから老いを自覚したのでしょうか。晩年の福澤の言葉を見ていくと、その中には次世代を意識した形跡が多く見られるようになります。自分の死後も「文明」の探求が継続されていくかと思うと「無限の苦痛」を感じる、と演説した事もありました。死ぬまで世の中を「デングリ返し」続けようと呼びかける演説もあります。「独立自尊」という言葉が福澤の精神を表すフレーズとして明確に位置づけられるのは死の1年前です。さらに福澤の脳卒中発症と闘病、そして死に至る経緯は、詳細な記録が残されています。

晩年の豊富な資料を通して、福澤が残したかったものは何か、それは残ったのかを考えます。

1. 基本情報

会 期：2026年6月18日（木）～8月29日（土）

休 館 日：日曜日・祝日、6月24日（水）、7月22日（水）

夏季休暇：8月10日（月）～8月17日（月）

会 場：図書館旧館2階 慶應義塾史展示館 企画展示室

開館時間：10：00～18：00（最終入館17：30）

入 場：どなたでもご覧いただけます（無料）

詳 細：https://history.keio.ac.jp/?page_id=4731※最新情報は展示館ウェブサイト (<https://history.keio.ac.jp/>) をご確認ください**2. 主な展示品**

1 福澤諭吉還暦祝の灯台模型 明治28年（1895）

2 福澤諭吉脳卒中闘病時のリハビリ反古 明治31年（1898）

3 福澤諭吉筆「独立自尊迎新世紀」 明治34年（1901）

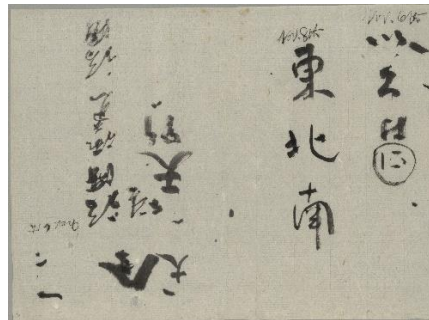
4 福澤諭吉葬儀の祭壇に飾られた檜の葉 明治34年（1901）

5 福澤諭吉葬儀当日の写真 明治34年（1901）

（資料1～5 慶應義塾福澤研究センター蔵）



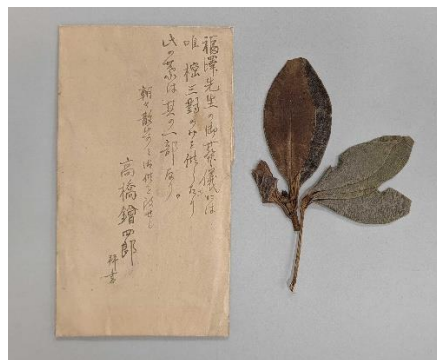
1. 福澤諭吉還暦祝の灯台模型



2. 福澤諭吉脳卒中闘病時のリハビリ反古



3. 福澤諭吉筆「独立自尊迎新世纪」



4. 福澤諭吉葬儀の祭壇に飾られた檜の葉



5. 福澤諭吉葬儀当日の写真

3. 関連イベント

(1) シンポジウム「晩年の福澤諭吉とその死—『修身要領』を中心に」

日 時：2026年7月11日（土）14：00～16：30（13：30開場）

会 場：慶應義塾大学三田キャンパス西校舎 517 教室

申込方法：不要（当日先着順 定員 400 名）

- ・記念講演：荒俣宏氏（小説家）「修身要領——福澤最後の夢」
 - ・トークセッション：荒俣宏氏×米山光儀氏（福澤研究センター顧問、田園調布学園大学学長）×小山太輝氏（幼稚舎教諭、福澤諭吉昆孫）
- 司会：都倉武之（福澤研究センター教授）

(2) ギャラリートーク (無料)

日 時 : 2026年6月26日(金)、7月16日(木)、8月7日(金)

各回 14:00~ (各日 50分程度)

申込方法 : 不要 (当日先着順 定員 20名)

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部・教育部・文化部等に送信させていただきます。

- ・本展示会内容のお問い合わせ先

福澤諭吉記念慶應義塾史展示館

TEL : 03-5427-1604 FAX : 03-5427-1605 Email : info@history.keio.ac.jp

- ・本リリースの配信元

慶應義塾広報室 (担当 : 志村) TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

E-mail : m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>